

臨床研究へのご協力をお願い

実施責任者：国立病院機構 埼玉病院

篠塚 俊介 上牧 勇

実施担当者：国立病院機構 栃木医療センター

倉持 由 金光 将史 石井 とも 山口 禎夫 石井 徹

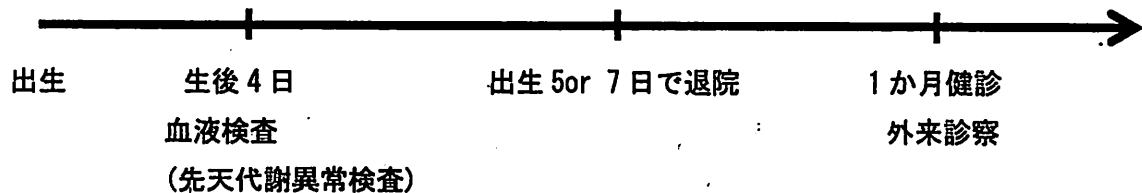
■新生児における酵素法による

血清クレアチニンとシスタチンCの基準値に関する研究

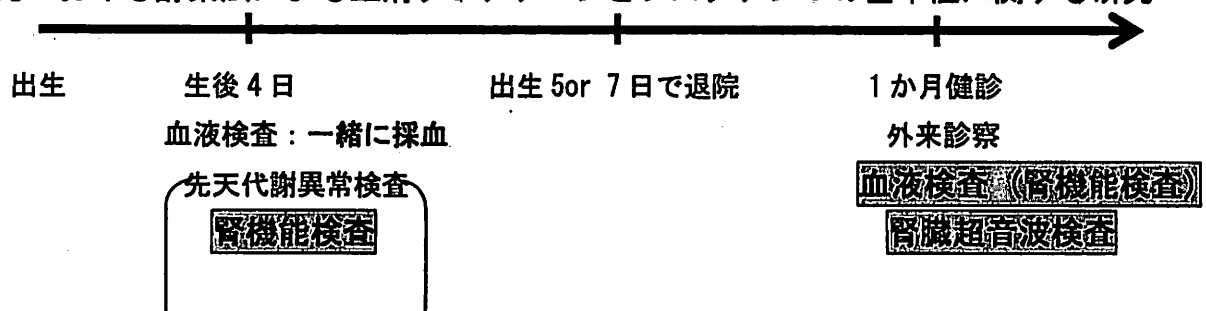
- 当院では元気にお生まれになった赤ちゃんを対象に上記の臨床研究を行っております。
- 検査を追加する研究で、腎臓疾患を早期に発見できる可能性があります。
- お子さんに大きな不利益はない研究ですので、是非ご協力の程よろしくお願ひします。
- もちろん、ご協力いただけない場合でもお子さんの普段の診療に影響はございません。

追加される検査について（網掛けが追加される検査です）

■出生後から退院、1か月健診までのおおまかな流れ



■新生児における酵素法による血清クレアチニンとシスタチンCの基準値に関する研究



※生後4日で全員に行っている代謝異常検査(血液検査)の際に、採血量を少し追加して検査します。
同時採血なので、お子さんへの負担はありません。

※1か月健診の際に、血液検査と腎臓超音波検査を行います。

検査で何らかの異常が発見された際は、当院腎臓外来での診療や専門病院への紹介など行います。

研究参加のお願い

赤ちゃんの腎臓チェック！
血液検査にご協力ください



2017/6/1

実際の流れ

日齢 1-4 病棟で検査について
ご説明させていただきます

日齢 4 代謝異常検査と一緒に採血します

1 か月健診 採血と超音波検査をおこないます

ご希望があれば、結果は郵送します。



どんな研究？

この研究は、赤ちゃんの腎機能をみるために必要な正常値を作るための慶応大学関連病院による共同研究です。

現在、新生児の腎機能が正常かどうかを判定するための日本人の正常値がわかっていません。本研究では、元気な赤ちゃんの血液を検査させていただき、正常範囲を設定するという研究です。血液検査以外には、超音波検査で腎臓のサイズをチェックします。そこで、1000人に2,3人といわれている腎臓の異常が見つかった場合は、腎臓外来で経過をみさせていただきます、必要に応じて適切な治療を行います。

担当者

倉持由 金光 将史 石井 とも 山口 禎夫 石井 徹

国立病院機構 栃木医療センター 小児科